

珪藻学会第40回研究集会（オンライン開催）プログラム

期 日：2020年12月5日（土）・6日（日）

会 場：zoom ミーティングIDとパスコードは第1日目（12月5日）のAM9:00
に参加登録の際にご記入頂いたメールアドレスに送付します

学会会長・集会会長：出井雅彦

第1日 12月5日（土）

12:00 受付開始

13:00 開会 学会会長・集会会長挨拶

13:05 オンライン参加ガイダンス

《 招待講演 1 》

【座長 佐藤晋也】

13:10 ニュージーランド沿岸域における浮遊性珪藻 *Pseudo-nitzschia* 属の遺伝的多様性と記憶喪失性貝毒産生能

★西村朋宏, J. Sam Murray (ニュージーランド, コースロン研究所),
Muharrem Balci (トルコ, イスタンブール大学), Holly Bowers (アメリカ,
モスランディング海洋研究所), Kirsty F. Smith, D. Tim Harwood,
Lucy Thompson, Jacqui Stuart, Sarah Challenger, Tony Bui,
Catherine Moisan, Lesley L. Rhodes (ニュージーランド, コースロン研
究所)

13:40 休憩

《 一般講演 》

【座長 伯耆晶子】

13:50 (1)モンゴル北部ウランブルガス湖の珪藻化石群集と完新世後期の環境変化

○福本侑 (大阪市立大・理), 藤木利之 (岡山理科大・理), 那須浩郎 (岡山
理科大・生物地球), Davaadorji Saindovdon (モンゴル教育大学)

14:05 (2)珪藻化石群集から明らかになった高知県土佐清水市の沿岸低地における古
環境変動と津波堆積物

○嶋田侑真, 澤井祐紀 (産総研・地質調査総合センター), 藤野滋弘 (筑波
大・生命環境系), 中島礼, 松本弾 (産総研・地質調査総合センター), 岡
田里奈 (弘前大・理工学研究科)

14:20 (3)韓国海岸湿原堆積物から得られた珪藻遺骸群集について

●鹿島薫 (九州大・理)

- 14:35 (4)1960年代の北太平洋と南大洋におけるパルマ藻群集-温暖化による激減 vs 過小評価-
○保科一輝, 上里有紀 (山形大学・理工), Richard W. Jordan (山形大学・理)

14:50 休憩

【座長 齋藤めぐみ】

- 15:00 (5)深層学習を用いた *Eucampia Index* の自動検出手法の確立
○石野沙季, 板木拓也 (産総研)
- 15:15 (6)滑走する *Navicula* sp. に押されて動くシリカビーズ
○井出祐貴, 岩崎悟至, 松川雄二 (東理大), 真山茂樹 (東京珪学研), 梅村和夫 (東理大)
- 15:30 (7)珪藻が海鳥の羽に付着する過程の再現実験
○吉岡夢生, 鈴木秀和, 神谷充伸 (海洋大・院・藻類), 綿貫豊 (北大・資源生態)

【座長 渡辺剛】

- 15:45 (8)デジタルホログラフィック顕微鏡による生きた珪藻細胞の物性マッピング
●梅村和夫, 平山航太, 松川雄二, 井出祐貴, 山崎時生, 竹田悠純 (東理大・理), 真山茂樹 (東京珪学研), 武村政春 (東理大・理)
- 16:00 (9)螺旋状群体を形成する *Aulacoceira ambigua* 単藻培養株に見られた群体の形状変化
●根来健, 大塚泰介 (琵琶湖博物館)
- 16:15 (10) *Epithemia* のスフェロイドボディと葉緑体の遺伝
○鎌倉史帆, 佐藤晋也 (福井県大・海洋生物)

16:30 休憩

《 招待講演 2 》

【座長 豊田健介】

- 16:45 珪藻グルメ学～盗葉緑体性渦鞭毛藻 *Durinskia capensis* における珪藻嗜好性とその用途多様性～
*Norico Yamada (ドイツ, コンスタンツ大学), David G. Mann (イギリス, エジンバラ王立植物園), Bernard Lepetit, Jochen M. Buck, Peter G. Kroth (ドイツ, コンスタンツ大学), John J. Bolton (南アフリカ, ケープタウン大学), Przemyslaw Dąbek, Andrzej Witkowski (ポーランド, シュチェチン大学), So-Yeon Kim (韓国, 群山大学校), Rosa Trobajo (スペイン, カタルーニャ農業食品研究所)

17:15 事務連絡

17:30 総会 (珪藻学会会員のみ)

第2日 12月6日(日)

8:30 受付開始
9:00 オンライン参加ガイダンス

《 招待講演 3 》

【座長 大塚泰介】

9:05 珪藻と造水処理—汽水域珪藻がアメリカの水不足を救う
★池端慶祐(米国, テキサス州立大, 理工・工学・土木工)

9:35 休憩

《 一般講演 》

【座長 辻彰洋】

9:45 (11)被殻形態からみたクチビルマガイケイソウ属 *Seminavis* とフナガタケイソウ属 *Navicula* の類縁関係
○笹野風, 鈴木秀和, 神谷充伸(海洋大・院・藻類), 長田敬五(日歯大・新潟・生物)

10:00 (12)紅藻ソゾ類の藻体上から見出された海産無縦溝珪藻 *Falcula* sp. の形態と分類学的検討
○菅原一輝, 太田梨紗子, 鈴木秀和, 神谷充伸(海洋大・院・藻類), 長田敬五(日歯大・新潟・生物)

10:15 (13)淡水産管棲珪藻 *Nitzschia* sp. の形態と分類学的検討
○牟田神東陽奈, 鈴木秀和, 神谷充伸(海洋大・院・藻類), 長田敬五(日歯大・新潟・生物)

10:30 (14)北太平洋及びベーリング海における *Proboscia* 属の seasonal forms の観察と新種の報告
○上里有紀, 保科一輝(山形大学・理工), Richard W. Jordan(山形大学・理)

10:45 休憩

【座長 長田敬五】

10:55 (15)コタキナバルのマングローブ林における底質付着珪藻の分類学的研究
●中村美穂(東京珪藻学研), 真山茂樹(東学大, 東京珪藻学研), 吉田輝明(Uiversiti Malaysia Sabah・Borneo Marine Research Institute)

11:10 (16)「田んぼの生きもの全種データベース」に掲載された珪藻について
●大塚泰介(琵琶湖博物館), 北野大輔(滋賀県農業技術振興センター)

11:25 (17)瞬間凍結劈開による珪藻被殻断面の研究への応用
●真山茂樹(東学大, 東京珪藻学研), 真山なぎさ(東京珪藻学研)

11:40 最優秀発表賞表彰(発表者左肩の○は選考対象者、●は一般発表、★は招待講演)

11:50 学会会長・集会会長挨拶

12:00 閉会

参加・発表される皆様へ

Zoomのインストール：

- ✓ 本研究集会ではオンライン会議ツールZoomを使用します。
- ✓ Zoomの使用に際して、アプリの使用を推奨します。アプリは https://zoom.us/download#client_4meeting
- ✓ から無料でダウンロードできます。Zoomアカウントがなくても参加ならびに発表は可能です。
*大学や会社の環境によってアプリを使用できない場合は、ウェブブラウザでもオンライン会議に参加できますが、ブラウザによって正しく動作しないことがあります。Google Chromeの使用が推奨されています。

参加者の皆様へ：

- ✓ ミーティングIDとパスコードは第1日目（12月5日）のAM9:00に参加登録の際にご記入頂いたメールアドレスに送付します。
- ✓ オンライン会議室に入室する際、名前の記入欄に以下のように入力して下さい：
氏名（所属）
<例> 珪藻太郎（文教大学）
*既にZoomアカウントをお持ちの方は、Zoomにサインインした状態でアクセスすると、名前を入力欄が表示されずオンライン会議室に入室となり、アカウントにZoom登録名が表示されます。その場合、画面下の参加者アイコンをクリック→参加者リストからご自身のアカウントの詳細ボタン→名前の変更、とし記入欄に上記のようにご記入ください。
- ✓ **画面キャプチャや録音等の発表内容を保存する行為、またそれらの再配布を禁止します。**
- ✓ 口頭発表は、1件あたり、発表12分間、質疑応答3分間とします。
- ✓ 質疑応答では発表者に質問できます。質問がある場合には、Zoom画面下部にある「手を挙げる」ボタンを押して挙手してください。座長に指名された際はミュートを解除して、発表者に対して質問してください。質疑応答が終わり次第、ミュートしてください。
*オンライン会議室に入室すると自動的にミュート状態になっています。

発表者の皆様へ：

- ✓ 入室時にはカメラはオフになっています。ウェブカメラをお持ちの方は、出来るだけ発表中はカメラをオンにしてください。
発表前準備
 - ・発表10分前にはオンライン会議室に入室する
 - ・スライドを開いた状態にする
 - ・「チャット」ボタンを押してチャットウィンドウを開いておく
 - ・待機している間はミュート、カメラオフ。
- 発表開始
 - ・自分の発表の時間になり座長に紹介されたら、ミュートを解除しカメラをオン。
 - ・「画面を共有」のボタンを押し、スライドのウィンドウを画面共有する。
- ✓ 予鈴の代わりとして、10分、12分、15分経過時にチャット画面に〇〇分経過と表示します。スムーズな進行のため、時間厳守をお願いします。
- ✓ 質疑応答では、画面共有を解除して頂くか、場合によっては特定の画面を共有しつつ進行して頂いても結構です。質疑応答が終わり次第、すみやかに「共有の停止」ボタンを押し、画面共有を解除してください。
- ✓ また、「ミュート」ボタンを押し、「ビデオの停止」というボタンを押してオフにしてください。